



DAIHATSU



2017年11月8日

## ダイハツ販売会社が自治体との包括連携協定を締結 ～第一弾は、松阪市と三重ダイハツ販売(株)が実施～

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、3月1日の創立110周年に合わせ刷新したグループスローガン「Light you up」のもと、世界中の一人ひとりが自分らしく、軽やかに輝くモビリティライフを提供すべく、ダイハツならではの「モノづくり」の強化と、お客様や地域の方々との接点拡大を主眼とした「コトづくり」に取り組んでいる。「コトづくり」活動の一つとして、高齢者の事故低減に向けた「地域密着プロジェクト」があり、2017年5月から全国的な活動として展開している。

今回、松阪市（市長：竹上真人）と三重ダイハツ販売株式会社（以下、三重ダイハツ、社長：林恒雄）は「高齢者にやさしいまちづくり」に関する包括連携協定を締結した。

自治体とダイハツの販売会社が高齢者の自立支援を目的とした協定を締結することで「地域密着プロジェクト」をより一層充実したものにすることを狙いとしている。

### ◆松阪市と三重ダイハツの協定内容は下記のとおり

【高齢者にやさしいまちづくりの取り組みについて※】※松阪市と三重ダイハツの協定資料より抜粋

- 1) 健康安全運転講座の実施
- 2) 高齢者見守り活動の実施
- 3) 認知症サポーターの養成
- 4) 松阪市店舗へのAED（自動対外式除細動器）の設置

ダイハツが進めている地域密着プロジェクトは、高齢化が進む地域社会で「いくつになっても自由に移動できる自立した生活」を「地域と連携してサポート」することを目的にスタート。

その第一弾として、「産＝ダイハツ/日本自動車連盟（以下、JAF）、官＝地方自治体、学＝日本理学療法士協会、民＝地域社会」の連携により「健康安全運転講座」を、地域の高齢者を対象に実施。

この健康安全運転講座は現在、三重県、広島県、静岡県の7つの市区町村で実施しているが、2018年度には、25を超える市区町村での開催を予定している。

以上